

サンプルーノ市中学生友好訪問団

姉妹都市から
中学生10人が

姉妹都市サンプルーノ市から中学生友好訪問団が7月1日から9日にかけて成田市を訪れました。参加したサンプルーノ市パークサイド中学校の10人はホームステイを通して日本の生活や文化を体験。成田祇園祭へ参加した後は、レトロバスに乗り込み、市内の観光スポットを巡りました。車内では観光ガイドとして同乗した成田国際高校の生徒から節分や市内の特産品、成田空港などについて、クイズを交えて英語で説明を受けるなど市内各地で交流を深めました。



山車引きにも挑戦



レトロバス内では成田国際高校の生徒が英語でガイドを



拝殿前でのもちつき

三里塚浅間神社落慶式
装い新たな社殿の
完成を祝して

5年前に拝殿と本殿の改修が計画され、改修工事が続いていた三里塚浅間神社。その工事が完了した6月30日、例祭に先立って落慶式が行われました。当日は新しくなった社殿に多くの参拝客が訪れ、午後から開催された宵宮祭でもちつきや地元のお神楽などがお囃子などが祭りを華やかに演出し、境内は終始にぎやかな雰囲気になりました。

親子でえびがにつり教室

昔ながらの竹ざおとスルメで

下方の田園地帯で6月30日、公民館による親子体験教室が開かれ、10組28人の親子が竹ざおとスルメを手にえびがにつりを楽しみました。どの組も釣果は好調で、一番釣った親子は2時間でなんと199匹。「昔を思い出し腕が鳴った」というお父さんは「こうした機会が減って残念。子どもたちには自然とふれあってほしい」と話していました。



えびがに、食い付いてこーい



見て。大きいでしょ

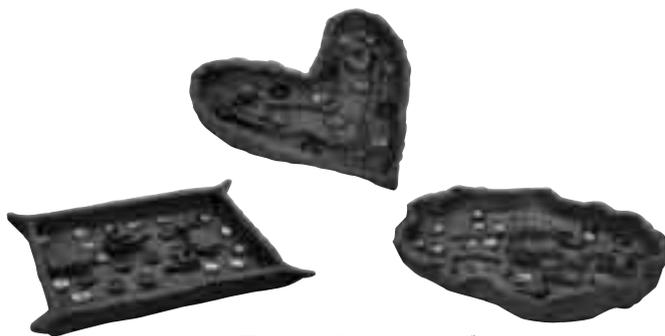


どんな風にしようかな？

こども体験学習セミナー「陶芸教室」

粘土をこねて お皿づくり

公民館による「こども体験学習セミナー(高学年の部)」の陶芸教室が7月7日、中央公民館で開催され、小学4～6年生22人が陶器の飾り皿づくりに挑戦しました。粘土をこねて好きな形に土台をつくり、何色かの平たいガラス玉をその上へ。焼き上がると陶器の上に溶けたガラスが付いた不思議な色合いのお皿ができあがりますが、完成するのは10月ごろのこと。子どもたちは自分たちの作品がどんな風にできあがるか期待と不安でいっぱいのような様子でした。



ガラス玉を散りばめ、ひとまず完成

魚の鮮度の見分け方やさばき方を学び、今後の食育活動に役立てようと成田市消費者友の会による「お魚教室」が7月4日、市卸売市場水産棟低温せり場で開催されました。同会会員をはじめとする参加者は、市場関係者の手ほどきを受け、イカ飯・アジのたたき・カツオの刺身の三品を完成。その後の試食では「新鮮」「おいしいね」と互いに顔を見合わせていました。

新鮮な魚を 自らの手で

消費者友の会「お魚教室」



さばき方の実演も

本職の手ほどきを受け、カツオに挑む



迫力のプレーで魅せる

成田市PTAバレーボール大会

成田小学校チームが連覇

成田市PTAバレーボール大会が6月23日に市体育館で開催され、過去最多となる23チームが優勝を競いました。試合中、選手たちは普段の優しいお母さんの顔からは見違えるような真剣な表情で白熱した試合を展開。チームプレーで勝ち進んだ成田小学校チームが昨年に続き大会を制しました。キャプテンの庄司見さんしょうけんは「ピンチの場面もありましたが、コーチがご祈祷してくれたハチマキで気合いを入れ直しました。郡大会ではまずは一勝を目指し、二戦、三戦と勝ち進んでいきたいですね」と笑顔で話していました。